

普及だより

きみつ

〒292-0833 木更津市貝渕3-13-34 TEL. 0438(23)0299
http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/ FAX. 0438(23)6698

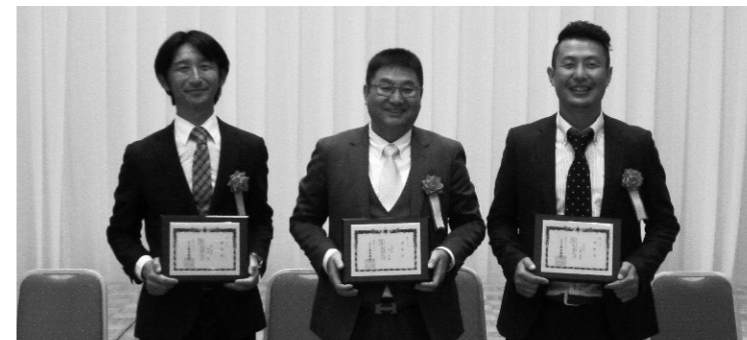
発行 千葉県君津農業事務所 君津地域農業改良普及事業協議会
編集 千葉県君津農業事務所 改良普及課

新しい 農業士認証者紹介

昨年11月20日に、千葉市内にて令和元年度千葉県農業士・指導農業士認証式典が行われ、君津地域からは農業士3名の方々が認証されました。農業士は、地域農業の担い手のリーダーとして、農業青年の相談相手となり、共に地域を盛り上げる役割が期待されます。今年度、新規に認証された方々を紹介します。

☆宇野 真弘氏(君津市)

露地野菜の業務用キャベツの生産を行っています。業務用キャベツは低単価ですが、需要が多く、規模拡大に対応しやすいこと、一般のものよりも正品率を高めやすく、出荷経費を抑えやすいため、利益率を高く出来ます。宇野さんは積極的な規模拡大を図り、現在10haの面積で作付けを行っています。また、業務用キャベツの部会を立ち上げるために、積極的に活動しています。



新規認証者3名(左から、有原氏、丸氏、宇野氏)

☆丸 文浩氏(富津市)

主食用米の他にも、種子やWC用稲、飼料用米に取り組み大規模水稲農家です。稲作経営の発展や、地域の活性化のために、米の生産・販売・輸出等に取り組み株式会社代表取締役や、地域内の畜産農家と連携した稲WCの生産を始め、耕作放棄地解消、ハウス建設受託等にも取り組む株式会社の取締役CFも務め、精力的に活動しています。

☆有原 努氏(袖ヶ浦市)

水稲と露地野菜、加工にも取り組む複合経営農家です。トウモロコシやレタス、直売所用の多種の野菜生産に加え、餅加工も行っています。また、雇用を使わず、家族労働力を最大限に生かしているのも特徴的です。君津4市4Hクラブ連合会の副会長を務めたり、地域の若手農業者と協力したりして、地域農業の活性化に尽力しています。

農業士・指導農業士協会 40周年記念式典の開催

農業士・指導農業士認証式典が行われた後に、40周年記念式典が開催されました。功労者表彰の後には、昨年の台風被害を受けて、復興の集いと称した会が開かれ、「自然災害と農業を考える」という題で講演が行われました。

きみつ農業女子 ネットワーク会員 募集中!

きみつ農業女子ネットワークは、自身の農業経営と地域農業の発展を目指して設立さ

れ、会員同士の交流を図りながら、君津4市の女性農業者13名で活動しています。交流会を開催し、若手から先輩農家まで幅広い世代の会員が集まり、持ち寄った野菜を使った時短料理を作ったり、会員相互の活動報告を行ったり、農業経営や生活の中での出来事や悩みを話しながら楽しく活動しています。また、女性農業者が活躍する経営体への視察や、県が主催する研修会に参加し、地域以外の農業者とも交流し、経営力の向上に努めています。

現在、新規会員を募集中です。君津4市の女性農業者であればどなたでも会員になることができます。活動に興味のある方はお気軽に農業事務所にお問い合わせください。

農業経営体育成 セミナー生を募集! 農業事務所では、新規就農した40歳程度までの方々を対象に毎年、セミナー生を募集しています。当セミナーでは、農業生産技術や経営に関する基礎的な

知識習得や先進農家の視察や意見交換などを通して実践的な経営管理の手法を学ぶ場となっております。また、自らの経営に関する課題解決を演習を通じて行うことで、経営者として必要な能力の習得もできます。更に、農業を行ううえで同業者の仲間がいることは、重要なことから、セミナーを通じた仲間づくりも行っています。

募集は、5月上旬まで行っていますので、興味を持たれた方は農業事務所まで連絡をお願いします。



先進経営体視察の様子

レタス資材展示・省力機械実演会を開催 省力化や作業負担軽減、規模拡大に向けて



展示ほのダンポール支柱を実際に触る参加者



機械を使えば一人で支柱を楽に打てます



機械の実演、説明を熱心に聞く参加者

Table with 3 columns: 支柱間隔 (Support pole interval), 経費合計*(円/10a) (Total cost*), 作業時間(10a) (Working time). Rows show intervals of 0.8m, 0.9m, 1.0m, and 1.1m with corresponding costs and times.

支柱間隔変更による経済効果の概要(支柱打込機使用) ※経費は被覆資材、支柱資材、人件費のみで種子、肥料、農薬、機械代、動力光熱費除く

君津地域のレタスは、約60年前から小櫃川沿岸の水田で裏作野菜として栽培されており、君津地域の基幹品目となっています。また、近年は富津市の天羽地区でも栽培されるようになり、4市で栽培、出荷されています。一方で、近年は生産者の高齢化により栽培者数は減少傾向にあり、以前は100haあった産地面積は一時50haまで縮小しました。しかし、若手生産者(概ね40代以下)の規模拡大により約60haまで回復しています。

歴史ある産地の生産力アップのため、JA木更津市、JAきみつ等の関係機関及び農業事務所は連携して、省力化のため、ダンポールの打ち込み間隔を変えた省力化と低コスト化を図ったトンネルの展示とトンネル支柱打込機の実演会を11月14日に木更津市の生産者のほ場で実施しました。参加者は、資材展示の説明を熱心に聞くとともに、機械による打ち込みを積極的に体験しました。今後、購入を希望する生産者も現れるなど、省力化機械への関心の高さがうかがえました。今後もこれらの取組を継続し、レタス産地が発展するよう支援していきます。支柱間隔毎の経費と支柱打ち込み機による作業時間を表に記載しましたので参考にしてください。(鈴木)

水稻の露地育苗と 高密度播種技術の紹介

育苗ハウス再建が 間に合わない場合の対応策

昨年の台風15号、19号、21号による大雨、強風により被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。これらの台風で育苗ハウスの破損・倒壊が多く発生しました。育苗ハウスの再建などが間に合わない状況でも次の技術があります。

【水稻の露地プール育苗】

露地プール育苗は、育苗を湛水したプールで行うプール育苗を、露地で行う技術です。保温のためにべたがけ資材を苗の上に被覆します。パイプハウスやトンネルがなくても育苗ができ、湛水するので育苗期間中の灌水作業が省力できます。

育苗床は、凹凸が無いように均平にして、水深が一定になるように水平にする必要があります。育苗用のプールは、雑草防止に黒マルチを敷き、木枠等で四方を囲み、農業用のポリシートでプールを作ります。湛水前のプールに芽出した育苗箱を並べ、べたがけをして2日間緑化し、その後、床土の表面が露出しない程度の深さに湛水し

ます。べたがけは、ポリプロピレン製の不織布を用い、2枚重ねにして裾を育苗箱の下に入れて押さえ昼夜被覆します。

育苗中の水管理は、床土の表面が露出しない程度の深さを保ちます。露地で育苗するために天候の影響を受けやすいので、育苗期間は慣行のパイプハウスと比べて長くなります(目安として2日程度)。4月20〜25日にコシヒカリを移植するためには、3月27日〜4月2日を目安に播種します。

表 育苗期間の適正な床土温度

	出芽		緑化 (稚苗)	硬化 (稚苗)
	加温出芽	無加温出芽		
日数の目安	2日	5日前後	2〜4日	15〜20日
温度	昼	20〜30℃	20〜25℃	5〜25℃
	夜	30℃	10〜20℃	

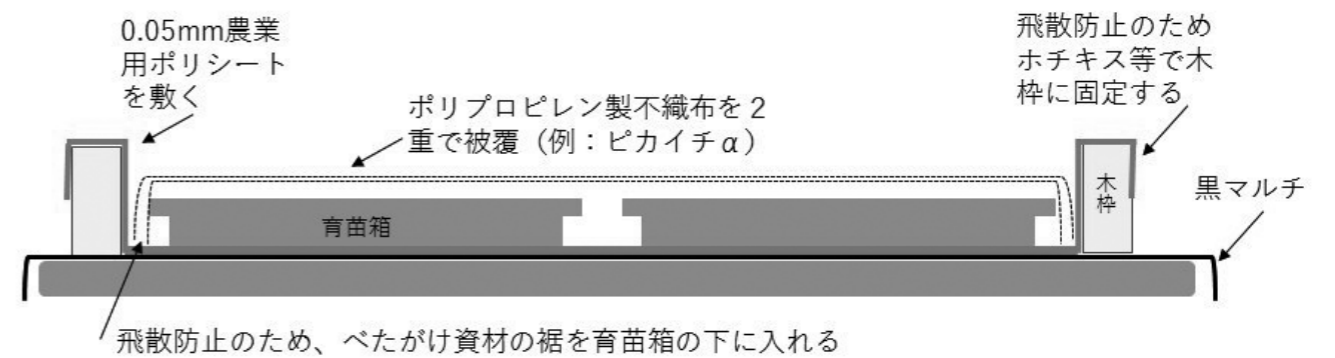


図 露地プール育苗の設置イメージ

【高密度播種育苗成】
水稻高密度播種育苗は、少ない育苗数で田植えをするために1箱当たりの播種量を増加させる技術です。田植え機の苗掻き取り量を減らすために、専用の田植え機や苗送り回数の変更、移植爪等の専用部品への交換など水稻高密度播種育苗に対応した田植え機が必要です。播種量は、各メーカーの推奨する範囲内(220〜300g)とし、「ふさこがね」等粉の大きい品種は、「コシヒカリ」より1割程度多く播種することで箱当たり粉数を揃えます。

播種量が多いのでマットの形成が早い反面、苗の老化も早いので、田植えは播種後14〜21日頃に行います(3月下旬播種、育苗器使用の場合)。
また、田植え時期の温度が低いと活着が悪くなるので、過度な早植えは避け、植え付け本数を減らさずに適正に保ちます。また、苗掻き取り量が減ることによる浮き苗防止のために育苗培土の量は減らさないでください。
技術の詳細は農業事務所へお問い合わせください。(後藤)

農業用ハウスの 台風対策

日常管理からの対策を

【はじめに】

昨年9月の台風15号によって君津地域でも多くの農業用ハウスが被害に見舞われました。ハウスの構造的補強も重要ですが、日頃からの保守管理も重要となります。

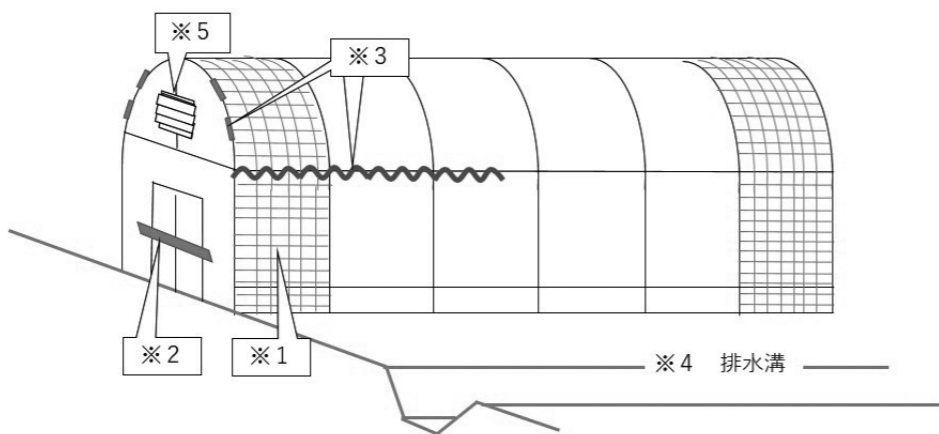
【台風が来る前に】

- ハウスに飛来物が当たって破損する場合も多いので、施設の周囲はよく整理し、風に飛ばされやすいものは片付けておきましょう。
- 妻部に近い3スパン分と側面部の風当たりの強い部分には、被覆資材が破れるのを防止するため、防風ネットなどを張っておきましょう。※1
- 出入り口の扉(戸車)を点検し、強風で外れないようにしっかりと固定しましょう。※2
- 側面部分は被覆資材がめくれやすいように、スプリング、パッカー等で固定しましょう。※3
- 万が一、被覆資材が破けた場合に備え、施設内部のものは可能な限り固定し、機械等も濡れないようにシート等で被覆しましょう。

- 燃料タンクは十分固定しておき、燃料コックは締めておきましょう。
- また、燃料パイプも破損しないように点検・補強しておきましょう。
- ハウス周辺の排水対策をしっかりと行っておきましょう。ほ場が水に浸かるとハウスの基礎部分の強度が低下し、抜けやすくなってしまいます。※4
- 停電となる場合も考えて、タンクにあらかじめ水を用意し、動力噴霧機(燃料も確認)を利用した散水等の潮風害対策も準備しておきましょう。

【台風が接近して来たら】

- 安全に配慮し、よく見回って、戸締まりをしっかりと行いましょう。特に天窓、換気扇等外部に通じている部分はしっかりと固定しましょう。
- 巻上用直管パイプはバタつかないようにしっかりと固定しましょう。
- 台風通過中に窓が開かないように、窓の閉閉装置等は手動にして、閉めておきましょう。なお、被覆資材の浮き上がりや予想される場合、換気扇の設置してあるビニールハウスは、それを稼働させ、ハウス内気圧を下げるように努め、浮き上がりを防止する方法も有効です。※5



● 被覆資材が新しい場合には、あくまでも風を入れないように努めましょう。被覆資材が古くなっている場合には、破れ始めると風をはらんでハウスの勢力次第では、骨材の保護のため、事前に被覆資材を除去した方が被害が少なくなる場合もあります。

【台風通過後】

- 安全に配慮し、早急に施設を見回り、破損箇所があった場合は、被災したことを証明するため被害写真を撮影しましょう。
- 施設内部に作物がある場合、換気を図り、施設内の高温を防止しましょう。
- 施設及び施設周辺の排水を積極的に図りましょう。
- 施設内部の電気制御盤が濡れている場合、乾く前の通電は漏電する危険性があるので注意しましょう。

【おわりに】

今後も台風の来襲が予想されます。千葉県では「農業用ハウス災害被害防止マニュアル」をHPに掲載しております。QRコードからも御覧いただけます。今回紹介した保守管理だけでなく構造上の補強事例も紹介しておりますので、保守点検や補強作業の参考にしてください。

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/jouhou/nougyouyouhaususaigataisakumannual.html>)

